令和２(2020)年度　特別支援学級等実践研修　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**様式２**

受講番号　　　　　学校名　　　　　　　　　　　　　　氏名

研究協議発表資料　「子どものうまくいっているところを生かした指導」

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **学年・学級** |  | **児童生徒氏名** |  | **診断名** |  |

※イニシャル等で記入

**１　実態把握**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **健康の保持** | **心理的な安定** | **人間関係の形成** | **環境の把握** | **身体の動き** | **コミュニケーション** |
| **○　うまくいっているところ(できていること、興味・関心、得意なこと等)** |
| **●　つまずいているところ****（課題となっていること）** | **◎　つまずいている中でもうまくいっているところ****(こんな支援があればうまくいく、こんな状況の時にはうまくいく)** |
| **本人・保護者の願い** |  |

**２　中心的な課題の抽出とその理由**

|  |  |
| --- | --- |
| **つまずきの背景要因の検討** | **（子どもは何に困っているのだろう？　複数のつまずきに共通する要因は何か？）****（必要な支援やうまくいく状況に共通する、うまくいくための要件は何か？）** |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **中心的な****課題** |  | **主な観点** | ・系統性・必要性・実現性・関連性・適時性 |
| **理由** |  |

**３　指導目標の設定**

|  |  |
| --- | --- |
| **長期目標** |  |
| **短期目標** |  |

**４　目標達成のために必要な内容（項目）の選定**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **健康の保持** | **心理的な安定** | **人間関係の形成** | **環境の把握** | **身体の動き** | **コミュニケーション** |
| □生活リズムや生活習慣の形成□病気の状態の理解と生活管理□身体各部の状態の理解と養護□障害の特性の理解と生活環境の調整□健康状態の維持・改善 | □情緒の安定□状況の理解と変化への対応□障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 | □他者とのかかわりの基礎□他者の意図や感情の理解□自己の理解と行動の調整□集団への参加の基礎 | □保有する感覚の活用□感覚や認知の特性についての理解と対応□感覚の補助及び代行手段の活用□感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動□認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 | □姿勢と運動・動作の基本的技能□姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用□日常生活に必要な基本動作□身体の移動能力□作業に必要な動作と円滑な遂行 | □コミュニケーションの基礎的能力□言語の受容と表出□言語の形成と活用□コミュニケーション手段の選択と活用□状況に応じたコミュニケーション |

**５　具体的な指導内容の設定**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **指導場面** |  | **重視した配慮点** | □主体的□意欲の喚起□進んだ側面□環境調整□自己選択・自己決定□学習の意味 |
| **指導内容と手立て** |  |

**６　指導の経過**

|  |
| --- |
| （学習状況と評価など、指導の経過が分かるように記入） |

**７　通常の学級との連携　　※通級による指導担当は記入してください**

|  |
| --- |
| （自立活動の指導を通常の学級において生かすために工夫したことなどを記入） |

　　　　　　　※　Ａ４両面１枚以内で作成し、第３日（２／５）に１２部ご持参ください。